



きらめく風

すすんで学ぶ子ども 心ゆたかな子ども 体をきたえる子ども

開校60周年を迎えて

旭町小学校長 道山 正史

始業式に元気な子供たちの顔を見てとてもうれしく思います。夏休み中、子供たちは学校での学習や規律ある生活から離れて、自分で計画した学習や生活のリズムによって、ゆったりとした気分で過ごしたことと思います。さて、今日から始まった2学期は学校生活の中でも最も充実した期間です。学習では授業時数や内容が豊富で、季節も良く、落ち着いて取り組むことができます。また、音楽会などの行事もたくさんあります。

その中でも今、学校は9月9日(土)のバースデー集会、9月16日(土)の開校60周年記念式典に向けての準備を急いでいます。バースデー集会では、全児童で60周年をお祝いし、記念の風船あげ等を行います。歌ったり踊ったりして、きっと楽しい思い出に残る集会になることでしょう。そして、記念式典では高学年が児童代表として臨みます。お客様として、練馬区を代表する方々や、これまでお世話になった地域の方々や先生方がたくさんいらっしゃり、お祝いをして下さることでしょう。立派な式典になるよう、あと2週間、高学年は練習に力を入れていきます。

この機会にあらためて開校当時の様子を調べてみますと、昭和32年に児童数418名、教員13名で豊溪小学校から独立し、開校したという資料が残っています。当時の子供たちや先生方、そして地域の方々が本校に寄せられた思いが伝わってくるようです。さまざまな資料からは、当時から「みんなが誇りに思う学校」として、本校を大切に育てて下さってきたのだと感じ取ることができます。これからも旭町小学校は、学校、保護者、地域の輪(和)の中で、「子供、保護者、地域、教職員が誇りに思う学校」を目指して教育活動に取り組んでまいります。